

新しい復興が大いに必要である
(極めて必要な新しい復興)

ニー兄弟がわたしたちに見せたビジョン、啓示

救い

召会

キリストを命とする (命としてのキリスト)

キリストのからだ

主の啓示、ビジョンはニー兄弟においてキリストのからだへと到達した

主の啓示とビジョンの発展－最高峰に到達する

1950 年～ キリストと召会から始まった

1980 年～ キリストのからだを持つには、キリストの分与が不可欠である

1984 年～ 神のエコノミーを見た

1994 年～ 神が人と成り、人を神とならせることで、キリストのからだが生み出される

これこそ神がわたしたちに与えられたビジョンの最高峰である

メッセージ 2

神聖な啓示の最高峰に到達する

聖書：Ⅰ テモテ 1:4, エペソ 1:10, 3:9, ローマ 1:3-4

神のエコノミー	Ⅰ テモ 1:4……そのようなものは、 信仰の中にある神のエコノミー 〔経綸〕ではなく、エペソ 1:10 時代の満了時の エコノミー 〔経綸〕へ至るためです。……すべてのものを、彼の中(キリストの中で)でかしらにつり上げようとしたのです。 エペソ 3:9 それはまた、 万物を創造された神の中に 、各時代にわたって隠されてきた奥義の エコノミー 〔経綸〕が何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり、
ダビデの子孫 神の御子	ローマ 1:3 彼の御子 に関するものです。この方は、肉によれば ダビデの子孫 から生まれ、ローマ 1:4 聖別の霊によれば、死人の復活から、 力の中で神の御子と明示された わたしたちの主イエス・キリストです。
キリストの からだ	ローマ 12:4 一つの体 の中には 多くの肢体 があり、そしてすべての肢体が同じ機能を持っていないように、 ローマ 12:5 わたしたちも 数が多いのですが 、キリストの中で 一つからだであり 、そして各自は互いに肢体なのです。

神聖な啓示の最高峰に到達する

Ⅰ	神の永遠のエコノミーの啓示	A	三一の神の自叙伝 (神が人と成ることに重点)
		B	人が神の神性にあずかる (人が神となることに重点)
Ⅱ	聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」(啓示、経験)	A-B	「神が人と成り、人が神となる」という啓示
		C-D	「神が人と成り、人が神となる」という経験
Ⅲ	キリストのからだが生み出される	A	キリストのからだを生み出す。究極的現れは新エルサレム
		B-D	神・人の生活をし、団体の神・人を生かし出す

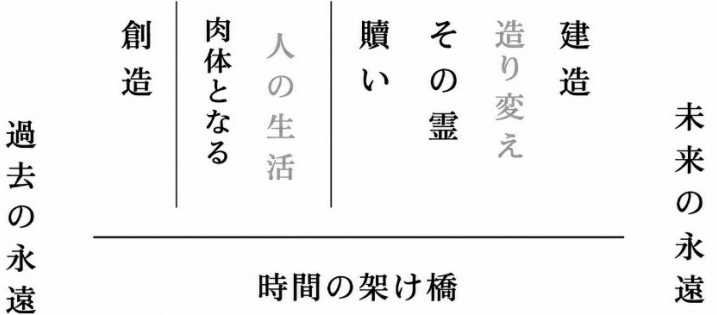
(朝ごとの食物)第2週

神聖な啓示の最高峰に到達する

日	段落、流れ	主題	要点
1	神が人と成る	三一の神の自叙伝	全聖書は三一の神の自叙伝です それは永遠の二つの区分と時間の架け橋において見られる
2	人が神となる	神の命と性質にあずかる	神の神性にあずかる 神の命、性質、思いにあずかる
3	神の神性にあずかる	神のかたちと姿にあずかる	神のかたちと栄光にあずかる 神の出現と姿(様)にあずかる
4	神が人と成り、 人が神となる	「神が人と成り、人が神となる」という啓示	聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」 神の永遠のエコノミーの定義
5	啓示、経験、目的	「神が人と成り、人が神となる」という経験	神はキリストの中でわたしたちの中へと建造される それは神の有機的な救いの過程、手順によってです
6	キリストのからだ	キリストのからだを生み出し、 団体の神・人を生かし出す	神が人と成り、人が神となり、キリストのからだを生み出す 神・人の生活をし、団体の神人を生かし出す

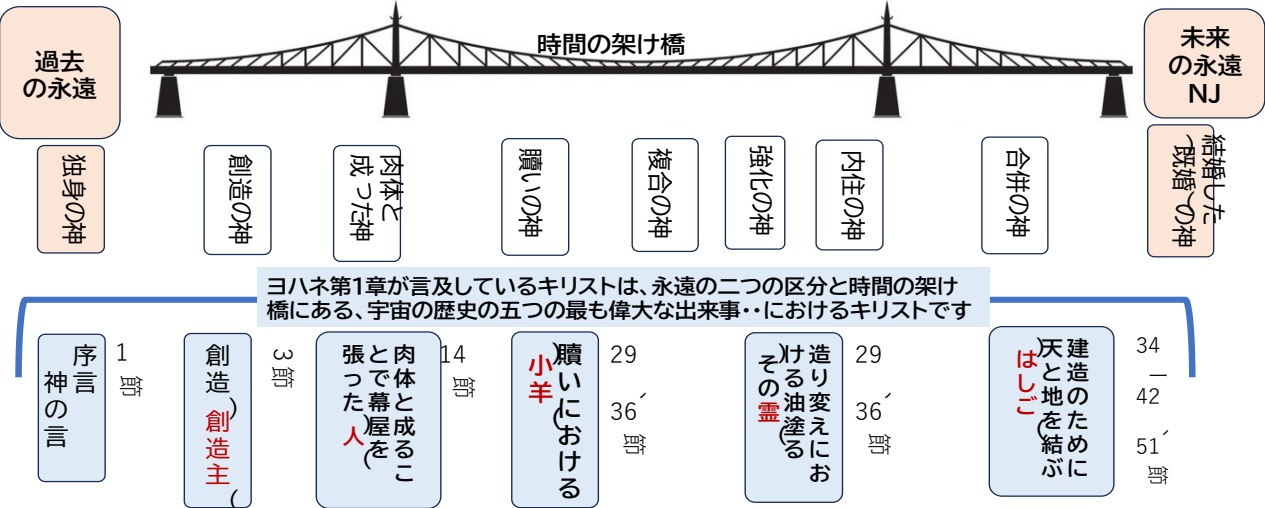
神の永遠のエコノミーの説明である全聖書は、 永遠の二つの区分と時間の架け橋において見られる、三一の神の自叙伝です：			
過去の永遠において	初めの神 「独身の神」	旧約において	間接的に人と共にいて、人の間で行動した
時間の中において	肉体となった神	四福音書	法理的な贖いの完成
復活において	複合の神 手順を経た神	使徒行伝と書簡	有機的な救いの完成
召会の墮落において	強化された神	啓示録第 1-20 章	勝利者を生み出す
未来の永遠において	団体の神	啓示録第 21、22 章	新エルサレム

ヨハネ第一章の啓示
永遠の二つの段階と時間の架け橋の上にある五つの中継点



2024 夏訓練

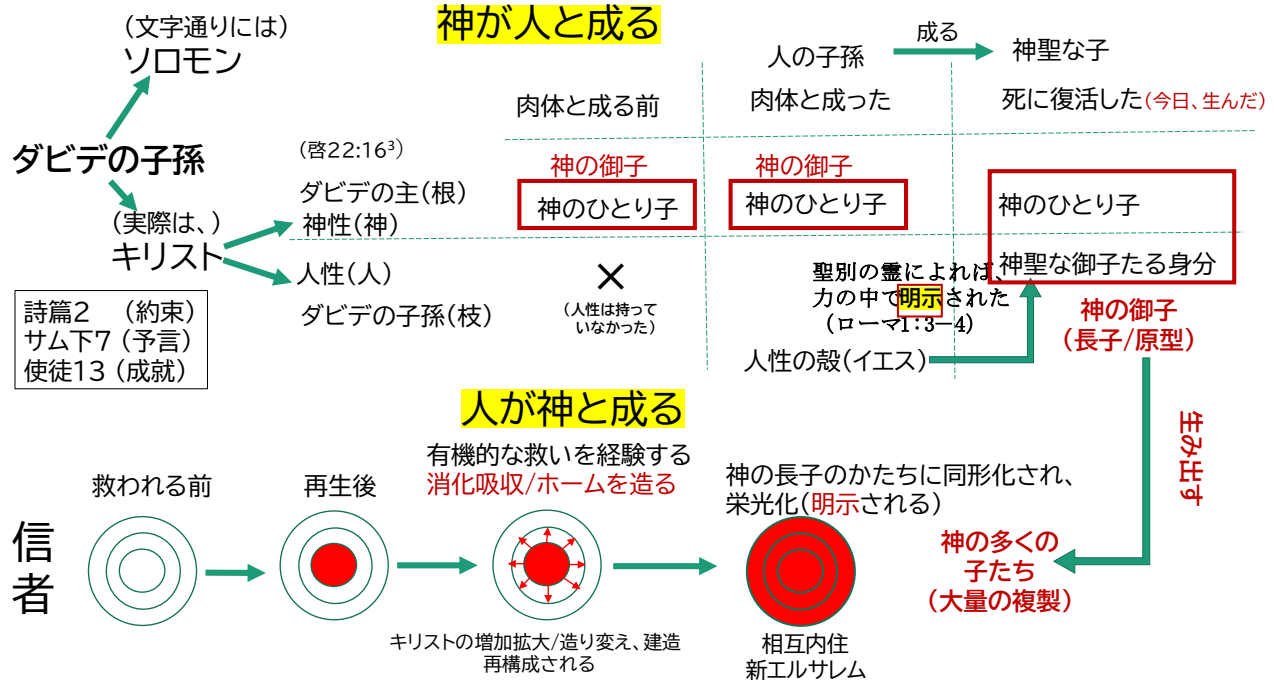
聖書とは、神の言としての“**journeying**” Triune God
「行程を行く三一の神」の自叙伝であり歴史です



神の言であるキリストが見えない神を定義し、説明し、表現する

永遠の二つの区分と時間の架け橋にある五つの最も偉大な出来事	
過去の永遠	1:1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であつた。
創造	1:3 すべてのものは、彼を通して成った。
肉体となる	1:14 そして言は肉体と成って、わたしたちの間に幕屋を張られた
贖い	1:29「見よ、世の人の罪を取り除く神の小羊！」
その霊	1:32「わたしはその霊がはどのように天から下って、彼の上にとどまるのを見た。」
建造のための造り変え	1:42 イエスは彼を見て言われた、「あなたはヨハネの子シモンである。あなたをケパ(訳せばペテロを意味する)と呼ぶことにする」。
未来の永遠	1:51 天が開け、神の御使いたちが人の子の上を上り下りするのを、あなたがたは見るであろう

ダビデの子孫が神の御子となる		
	ダビデの子孫 (神が人と成る)	神の御子 (人が神と成る)
サム下第7章	12 わたしはあなたの身から出るあなたの子孫をあなたの後に起こし	14 彼はわたしの子となる
ローマ書第1章	3、彼の御子に関するものです。肉によればダビデの子孫から生まれ、	4 聖別の霊によれば、死人の復活から、力の中で神の御子と明示されたわたしたちの主イエス・キリストです



結びの言葉 神聖な啓示の最高峰に到達する	
到達するとは発展の過程です	救い、召会、キリストを命とする、キリストのからだ、キリストと召会、神の分与、神のエコノミー
神聖な啓示の最高峰	神が人と成る、人が神となる、キリストのからだ、新エルサレム
啓示にしたがった生活と奉仕	神人の生活、神にしたがった牧養

メッセージ 2
神聖な啓示の最高峰に到達する

神の永遠のエコノミーの啓示

I. 神がわたしたちに与えた神聖な啓示の最高峰は、神の永遠のエコノミーの啓示です。それは、神が人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となるためであるということです：

三一の神の自叙伝(神が人と成るここに重点)

A. 神の永遠のエコノミーの説明である全聖書は、永遠の二つの区分と時間の架け橋において見られる、三一の神の自叙伝です：

1. 三一の神は永遠から時間の中へと入って来て、彼の神性を伴って人性の中へと入り、肉体と成った神となりました。それは人における神の直接の行動のためであり、四福音書において見られ、神の法理的な贖いを完成するためでした——ヨハネ 1:14, 29。
2. 彼は復活において複合の神、「手順を経た」神、すなわちすべてを含む、命を与える霊と成りました。それは使徒行伝と書簡において見られ、彼の有機的な救いを完成するためでした。

た——ヨハネ 1:32, 42. I コリント 15:45 後半. ピリピ 1:19。

3. 未来の永遠において、彼は団体の神、新エルサレムとなります。それは啓示録第 21 章と第 22 章において見られます。
4. 手順を経て究極的に完成された三一の神と、再生され、造り変えられ、栄光化された信者たちとの、宇宙的な、神性と人性の合併は、神の永遠のエコノミーの目標です——ヨハネ 1:51. 啓 21:3, 22。
5. 神の中心的な啓示と主の回復とは、神が肉体と成り、肉体が命を与える霊と成り、命を与える霊が七倍に強化された霊と成って、召会を建造し、それがキリストのからだとなり、新エルサレムを究極的に完成するということです。

神の永遠のエコノミーの説明である全聖書は、 永遠の二つの区分と時間の架け橋において見られる、三一の神の自叙伝です：			
過去の永遠において	初めの神 「独身の神」	旧約において	間接的に人と共にいて、 人の間で行動した
時間の中において	肉体となった神	四福音書	法理的な贖いの完成
復活において	複合の神 手順を経た神	使徒行伝と書簡	有機的な救いの完成
召会の墮落において	強化された神	啓示録第 1-20 章	勝利者を生み出す
未来の永遠において	団体の神	啓示録第 21、22 章	新エルサレム

人が神の神性にあずかる(人が神となることに重点)

- B. 神が人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となるためです。これは、全聖書の本質、すなわち聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」であり、神の永遠のエコノミーです——創 1:26. ヨハネ 12:24. ローマ 8:29：
1. 神は肉体と成ることを通して人と成り、人の人性にあずかりました。人は造り変えを通して神となり、神の神性にあずかります：
 - a. 神の命にあずかる **(再生)**——ヨハネ 3:15. コロサイ 3:4。
 - b. 神の性質にあずかる **(聖別)** ——エペソ 1:4. II ペテロ 1:4。
 - c. 神の思いにあずかる **(更新)** ——エペソ 4:23. ピリピ 2:5。
 - d. 神の存在にあずかる——II コリント 3:18 後半. エペソ 3:8。
 - e. 神のかたちにあずかる **(造り変え、同形化)** ——II コリント 3:18 前半. ローマ 8:29。
 - f. 神の栄光にあずかる **(栄光化)** ——30 節. ヘブル 2:10。
 - g. 神の子たる身分にあずかる——エペソ 1:5. ローマ 8:23。
 - h. 神の出現にあずかる——19 節。
 - i. 神の様を持つ(神のようになる)——I ヨハネ 3:2。
 - j. 神類、神の種類となる——ヨハネ 1:12. ローマ 8:14, 16。
 2. この神と人のロマンスは全聖書の主題、神のエコノミーの内容、全宇宙の秘密です——雅 1:1. 6:13。

聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」(啓示、経験)

- II. 神聖な啓示の高嶺、すなわち聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」は、一つの啓示、すなわち、神がキリストの中で人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となるためであるということです——サムエル下 7:12-14 前半. ローマ 1:3-4. エペソ 3:17 前半：

A-B: 神が人と成り、人が神となる」という啓示

- A. 「神が人と成り、人が神となる」ということが神のエコノミーです——I テモテ 1:4。
- B. 神の永遠のエコノミーとは、人を神格においてではなく命と性質において神であるのと同じにし、ご自身を人と一にし、人を神と一にして、彼の表現において拡大し拡張し、彼の神聖な属性のすべてが、人性の美德において表現されるようにするということです——エペソ 3:9. 1:10：
1. 神の大きい喜びとは、人と一になり、人を神格においてではなく命と性質において神であるのと同じにすることです——5, 9 節。

2. 神が人と成ったのは、ご自身の大量の複製を持ち、それによって新しい種類、神・人の種類を生み出すためでした——ヨハネ 1:1, 14. 12:24。

C-D:「神が人と成り、人が神となる」という啓示

- C. 神のエコノミーの成就のために、わたしたちが必要とするのは、神がご自身をキリストの中でわたしたちの命、性質、構成としてわたしたちの中へと建造して、わたしたちを神格においてではなく命と性質において神とすることです——エペソ 3:17 前半. コロサイ 3:4, 10-11。
- D. 神が人と成ったのは肉体と成ることを通してでした。人が神となるのは、再生、聖別、更新、造り変え、同形化、栄光化を通してです——ヨハネ 3:5-6. 1:12-13. ローマ 6:19, 22. 12:2. 8:29-30。

キリストのからだが生み出される

- Ⅲ. 神が人と成り、人を神とすることによってのみ、キリストのからだは生み出されることができます。この点が、神がわたしたちに与えたビジョンの高嶺です——ローマ 8:3. 1:3-4. 8:14. 12:4-5 :

キリストのからだを生み出す。究極的現れは新エルサレム

- A. 神が人と成って人を神としたのは、キリストのからだを生み出すためでした。このからだは三一の神の有機体であり、その究極の現れは新エルサレムです——エペソ 1:22-23. 4:4-6. 啓 21:2, 9-10。

B-D: 神・人の生活をし、団体の神・人を生かし出す

- B. 聖書は、人がどのようにして神となって神・人の生活をし、それによって神の有機体となることができるのかを見せています——ローマ 1:3-4. 12:4-5 :
1. この有機体は、神がご自身を人と結合しミングリングして、人を神とするものです。
 2. 神が人と成り人が神となった結果は一つの有機体です。この有機体はキリストのからだ、すなわち神と人の結合とミングリングです——エペソ 4:4-6, 12。
- C. 神は彼の御子を遣わし、御子は人と成り、神聖な命によって神・人の生活をしました。そのような生活の結果は、神であるのと全く同じである宇宙的な人、すなわち神聖な命によって神・人の生活をする団体の人です——ローマ 8:3. 12:4-5。
- D. キリストのからだの実際は、神と人の結合とミングリングであり、団体の神・人を生かし出すことです——エペソ 4:4-6, 24。